

【第8回】  
男性更年期障害と  
生活習慣病の関係②

奥田内科



TEL045-830-6161

洋光台駅1分・シヨップ27 2階

okudanaika.com

前回に引き続き男性更年期についてお話しします。今回は治療方法です。

男性ホルモン注射を2週間に一回筋肉注射します。また状況に応じて漢方薬、塗り薬(健保未適応)などを使用します。作用は様々で、翌日から効果が出る人もいますが、通常3ヶ月で効果判定を行います。

また、その後の治療を継続するかどうかは総合的に判断しますが、6ヶ月から1年くらいが必要と我々は考えています。

多幸感や性欲の亢進が現れるほか、次の効果が発現する可能性があります。

- ①赤血球を作る作用による貧血の改善
- ②骨を作る作用による、骨粗しょう症の改善
- ③脂肪が減り、筋力が増える
- ④動脈硬化の防止による心筋梗塞予防。

但し、副作用があり、多血症、前立腺がん(元々ある場合)の悪化等が起こる

医学博士 平林良樹  
(奥田内科非常勤医師)  
消化器専門医・糖尿病  
内視鏡専門医・糖  
消化器内視鏡専門医  
内科学会認定医  
尿病学会  
スルズ  
ズ

事がありま  
すので、検  
査しながら  
慎重に投与  
します。

